

令和 8 年度愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜
試験内容及び試験曲

1. 専攻別実技試験

作曲専攻 作曲コース

- (1) 4 声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか 1 題が課せられます）。
……………所要時間：3 時間
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由。
……………所要時間：7 時間。うち前半 3 時間（ピアノなし）／後半 4 時間（ピアノあり）
- (3) 口述試験（面接を含む）
試験で書いた答案についての質疑応答。

作曲専攻 音楽学コース

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……………所要時間：論述 2 時間及び口述試験所要時間
- (2) 外国語（英、独、仏から 1 科目）。読解力を問う試験。……………所要時間：1 時間

声楽専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず2つ以上のグループから、合計 4 曲を選び、曲目提出用紙に記入し出願時の提出書類とともに提出してください。うち 1 曲を当日指定します。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

a. 『イタリア歌曲』グループ

- | | | |
|--------------------------------|--------------------------|-------------------|
| 1. G. Bononcini | Per la gloria d'adorarvi | (D, Es, F, G) |
| 2. A. Cesti | Intorno all'idol mio | (c, d, e, f) |
| 3. F. Durante | Vergin, tutto amor | (h, c, d) |
| 4. F. Gasparini | Lasciar d'amarti | (d, e, f, g) |
| 5. T. Giordani [伝 G. Giordani] | Caro mio ben | (C, Des, Es, F) |
| 6. C. W. Gluck | O del mio dolce ardor | (c, d, e, fis, g) |
| ※下記注意事項を参照のこと | | |
| 7. L. Mancia [伝 S. Rosa] | Star vicino | (E, G, A, B) |
| 8. A. Scarlatti | Già il sole dal Gange | (F, G, As, B) |
| 9. A. Scarlatti | Se Florindo è fedele | (G, As, B) |
| 10. A. Scarlatti | Se tu della mia morte | (e, f, g) |

b. 『ドイツ歌曲』グループ

- | | | |
|------------------------------|--------------------------|-------------------------|
| 11. L. v. Beethoven | Ich liebe dich | (G, F) |
| 12. W. A. Mozart | An Chloe | (Es, C) |
| 13. F. Mendelssohn Bartholdy | Auf Flügeln des Gesanges | (F, G, As) 第 1 節及び第 3 節 |
| 14. F. Schubert | An die Musik | (B, C, D, E) |
| 15. F. Schubert | Seligkeit | (C, D, E) 第 1 節及び第 2 節 |
| 16. R. Schumann | Du bist wie eine Blume | (E, Ges, As) |

c. 『日本歌曲』グループ

- | | | |
|-----------|-------------|---------------------|
| 17. 小松 耕輔 | 母 | (F, G, As, A) |
| 18. 瀧 廉太郎 | 荒城の月 | (c, d) 第 1 節及び第 2 節 |
| 19. 團 伊玖磨 | 花の街 | (F) 第 1 節及び第 3 節 |
| 20. 信時 潔 | 行々子（「沙羅」より） | (Fis, F, E) |
| 21. 山田 耕筈 | かやの木山の | (C, D) |

【注意事項】

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。
大文字は長調、小文字は短調を示します。
- 『イタリア歌曲』については、基本的に全音楽譜出版社版「イタリア歌曲集」（畑中良輔 編）を使用します。
6. O del mio dolce ardor は全音楽譜出版社「イタリア歌曲集 1」31A を演奏してください。
- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

（次ページにつづく）

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。（前掲の課題選択曲の中から提出する事も可）原則として、曲目提出後の変更は認めません。

所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

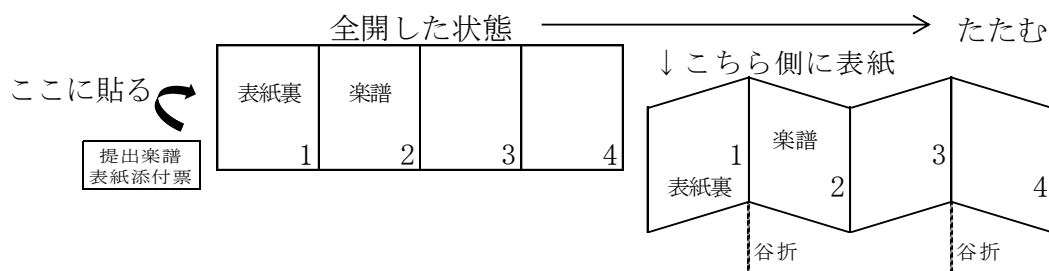
歌曲（一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner: Chorübungen I No. 37 a) ~No. 77 d)の中から1曲を試験の際に指定します。
大阪開成館『全訳コールユーブンゲン』（信時潔 訳）を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
- 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず出願時の提出書類とともに提出してください。
- 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。（鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。）
- 4) 提出楽譜には、1曲ごとにA4の表紙を付け、必要事項（氏名、声種も忘れずに）を記入した「提出楽譜表紙添付票」を表紙左上隅に貼付し、2ページ以降が楽譜となるようにしてください。
- 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。

以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



器楽専攻 ピアノコース

課題曲：

- ① J. S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集第1巻、第2巻より任意の1曲（前奏曲とフーガ）
- ② J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethoven のいずれかによる任意のソナタ1曲（全楽章）
- ③ 1950年までに作曲された任意のピアノ独奏作品（複数曲も可）※

※ 出版された作品に限ります。

※ ①、②で選択した曲と内部奏法等の特殊奏法を用いた作品を除きます。

※ ソナタや組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めません。

第1回

課題曲①と③を順に演奏してください。

第2回

課題曲②を第1楽章から演奏してください。

【注意事項】

- ・ 全曲暗譜で演奏してください。
- ・ 繰り返しなしで演奏してください。ただし24小節以内の繰り返しは任意。
- ・ 試験当日に演奏箇所を指定する場合があります。
- ・ 曲目提出用紙は、出願時の提出書類とともに提出してください。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

器楽専攻 弦楽器コース

器楽専攻弦楽器コース共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲、自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻弦楽器コース提出用紙について（出願時の提出書類とともに提出してください。）

- ・ 提出用紙に、課題曲 b)（コントラバスとハープを除く。）及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望（ヴィオラ）の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望及び実技試験時のコントラバス椅子使用希望の有無に○を付けてください。
- ・ 原則として、曲目提出後の変更は認めません。

ヴァイオリン

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より 任意の調性

No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節

リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) 次の3つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont: 24 Études et Caprices Op. 35

P. Rode: 24 Caprices

N. Paganini: 24 Capricci Op. 1

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲より第1楽章または終楽章。（カデンツァを含みます。）

ヴィオラ

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より 任意の調性

No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節

リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) B. Campagnoli: 41 Caprices もしくは J. Palaschko: 20 Studies Op. 36 より任意の1曲

（2）自由曲

古典派の任意のヴィオラ協奏曲より第1楽章。（カデンツァを含みます。）

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb: Gammes et arpèges より 任意の調性

4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を、4 つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを、3 つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を、スラー無しのレガートで。

b) J. L. Duport: The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の1曲

(2) 自由曲

古典派以降のチェロ協奏曲(カデンツァを含む)もしくは古典派のチェロソナタより任意の楽章。

コントラバス

(1) (2) 共にオーケストラチューニングで演奏してください。

(1) 課題曲

a) 音階 G-dur 2 オクターブ 譜例参照



b) F. Simandl: 30 Etudes for the String Bass より No. 17 Tempo di Polacca in E minor

(2) 任意の自由曲

ハープ

ハープ受験者は、本学で用意した楽器を使用してください。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes Cinquante Etudes Op. 34 より No. 5 及び No. 10

(2) 任意の自由曲

器楽専攻 管打楽器コース

器楽専攻管打楽器コース共通事項

- ・ 課題曲等について、暗譜の要否の記載がない場合は、暗譜の必要はありません。
- ・ 第2次試験の伴奏者については、本学で用意します。演奏の直前に伴奏者と30秒程度の打ち合わせができます。
- ・ 試験曲の演奏箇所を当日指定する場合があります。

器楽専攻管打楽器コース提出用紙について（出願時の提出書類とともに提出してください。）

- ・ フルート受験者は、第1次試験及び第2次試験で選択した曲の番号及びアルファベットと曲名を提出用紙に記入してください。
- ・ ファゴット、トロンボーン及びバストロンボーン受験者は、第2次試験で選択した曲の番号と曲名を提出用紙に記入してください。
- ・ 上記以外の楽器の受験者は提出の必要はありません。
- ・ 原則として、曲目提出後の変更は認めません。

フルート

第1次試験

（1）音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。任意のアーティキュレーションで演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

（和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。）

譜例

Moderato



（2）課題曲

- a) 下記の5曲より当日指定します。（繰り返しなし、版の指定はしません）

J. Andersen: 24 Studies Op. 21 より No. 4、6、10、22、24

- b) 下記の5曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。①以外の曲は、版の指定はしません。

- ① E. Bozza: Image (Leduc 版) 冒頭～2ページ3段目 Lento 後のフェルマータまで
- ② A. Honegger: Danse de la Chèvre 冒頭～48小節目まで
- ③ J. Ibert: Piece pour Flute Seule 冒頭～59小節目1拍目まで
- ④ S. Karg-Elert: 30 Caprices Op. 107 より Chaconne 冒頭～Var. XIII 最後まで
- ⑤ S. Karg-Elert: Sonata Appassionata fis-moll Op. 140 冒頭～51小節目まで

第2次試験

- a) 下記の2曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。

① W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より第1楽章

② W. A. Mozart: Concerto in D major K. 314 より第1楽章

演奏箇所は当日指定します。（共にカデンツァなし、版の指定はしません）

- b) G. Fauré: Fantaisie Op. 79 より Andantino （版の指定はしません）

オーボエ

第 1 次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

(和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。)

(2) 課題曲

W. Ferling: 48 Etudes より (版の指定はしません)

No. 21～No. 30 の中から当日指定します。

第 2 次試験

F. J. Haydn: Concerto (Breitkopf 版) より第 1 楽章

クラリネット

第 1 次試験

(1) 音階

Rolf Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1 の中から当日指定します。ただし、暗譜で演奏してください。

任意のアーティキュレーションで演奏してください。

(2) 課題曲

C. Rose: 32 Etudes (Leduc 版) より

No. 15～No. 28 の中から当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

第 2 次試験

F. Krommer: Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より (版の指定はしません)

第 1、第 2 楽章

ファゴット

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

(和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。)

(2) 課題曲

Julius Weissenborn: 50 Bassoon Studies Op. 8 No. 2 (Carl Fischer 版) より

No. 1～No. 14の中から当日指定します(繰り返しなしで演奏してください)。

第2次試験

下記の2曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。

① A. Vivaldi: Concerto in D minor Op. 45-7 (F. VIII-5) (International Music Company 版) より

第2楽章 (♩=ca. 66) 及び第3楽章 (♩=ca. 108)

② K. Stamitz: Konzert F-dur für Fagott und Orchester (Sikorski 版) より第1楽章

サクソフォーン

第1次試験

(1) 音階

サクソフォーンのためのトレーニングブック 須川展也 編 (音楽之友社) より

①を全調から、当日指定します。

テンポは ♩ ≒ 100 とします。

アーティキュレーションは、スラーおよびスタッカートとし、当日指定します。

暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

W. Ferling: 48 Études (Leduc 版) より

No. 1 と 2、No. 5 と 6、No. 13 と 14、No. 19 と 20、No. 27 と 28、No. 31 と 32、No. 35 と 36

の中から当日指定します。

第2次試験

A. Glazounov: Concerto en Mi ♭ Op. 109 (Leduc 版) より 冒頭から練習番号 16 まで

ホルン

第 1 次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for French Horn (版の指定はしません)

No. 13、25、28 の中から 2 曲当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

Low F、B♭ のフルダブルホルンを使用してください。

第 2 次試験

W. A. Mozart: Horn Concerto No. 3 K. 447 (Bärenreiter 版)

第 1 楽章 (カデンツァなし)

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第 1 次試験

(1) 音階

J. B. Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)

65~81 ページの 4、19、25、31、38、42、43、44、47、53、59、65、70~81 の中から当日指定します。

(2) 課題曲

a) C. Colin: Advanced Lip Flexibilities Vol. 1 (CHARLES COLIN) より 17 番を

暗譜で演奏してください。

b) Théo Charlier: Trente-Six Études Transcendantes (Leduc 版) より No. 1、2

演奏箇所は当日指定します。

第 2 次試験

C. Saint-Saëns: Fantasia en mi bémol (Leduc 版)

トロンボーン

第 1 次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

a) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. 15、26 は必須課題。

No. 8、12、14、16、24 の中から当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。

b) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone Book1 (CARL FISCHER 版) より

No. 7、13、16 の中から当日指定します。

第 2 次試験

下記の選択課題曲 5 曲より 1 曲を選択し、演奏して下さい。演奏を途中でカットする場合があります。

- ① F. David: Concertino in E ♭ Op. 4 (Zimmermann 版) より第 1 楽章、第 2 楽章
- ② E. Sachse: Concertino in B ♭ (International Music Company 版)
- ③ A. Guilmant: Morceau Symphonique Op. 88 (Schott 版または Kalmus 版)
- ④ E. Bozza: Ballade Op. 62 (Leduc 版)
- ⑤ E. Ewazen: Sonata for Trombone & Piano (Southern Music 版) より第 1 楽章

バストロンボーン

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

a) C. Kopprasch: 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. (19)、26 は必須課題。

No. (7)、(9)、(14)、18、20、21、25 の中から当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

※注 () の課題は1 オクターブ下げて演奏してください。

b) A. Ostrander: Melodious Etudes for Bass Trombone (CARL FISCHER 版) より

No. 9、10、15 の中から当日指定します。

第2次試験

下記の選択課題曲5曲より1曲を選択し、演奏して下さい。演奏を途中でカットする場合があります。

- ① F. David: Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone (Zimmermann 版) より
第1楽章、第2楽章
- ② E. Sachse: Concerto (Concertino) in F for Bass Trombone (Zimmermann 版)
- ③ Alexey Lebedev: Concerto No. 1 (Hofmeister 版)
- ④ E. Bozza: New Orleans (Leduc 版)
- ⑤ G. Ph. Telemann: Sonata in F minor TWV41: fl (International Music Company 版)

ユーフォニアム

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

a) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book 1 より

No. 5、8、10、16 (新版を使用してください)

b) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 14、17、23、24、27

a)、b) より各1曲を当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

第2次試験

A. Capuzzi: Andante and Rondo (from Concerto for D. Bass) (Peters 版)

テューバ

第1次試験、第2次試験ともC管かB♭管を使用してください。

第1次試験

(1) 音階

譜例の形を暗譜で演奏してください。すべての長調、短調の中から当日指定します。

短調は和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。

譜例



(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for B♭flat Tuba

(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278) より

No. 15 は必須課題。

No. 6、7、13、18、19、21、26 の中から当日指定します。繰り返しなしで演奏してください。

第2次試験

W. S. Hartley: Suite for Unaccompanied Tuba (Elkan-Vogel 版)

パーカッション

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参し、マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

- ① All-American Drummer (Ludwig Masters 版) より

Wilcoxon's 132nd、133rd、134th、135th、136th、137th、138th の中から当日指定します。

- ② 深町 浩司：新しい打楽器メソッド (スタイルノート社) より 124 ページから

126 ページの「実践的なフレーズトレーニング 1」を、ティンパニで演奏してください。

(フェルトマレットを使用、4 分音符 = ca. 72、mf) 演奏箇所は当日指定します。

第2次試験

- ① オーケストラスタディ (ティンパニ、ピアノ伴奏付き)

G. F. Händel: Der Messias HWV56 より Hallelujah

バロックティンパニ用マレットまたは木のヘッドのマレットで演奏してください。

ピアノ伴奏譜は Breitkopf 版 (Edition Breitkopf 2419) を使用します。

- ② Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版) より 25 番

4 分音符 = ca. 72 で演奏してください。

- ③ マリンバで音階 [楽譜④] を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

2 オクターブ、往復、短調は 1 回目 和声短音階、2 回目 旋律短音階

[楽譜④]



マリンバ

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参し、マリンバは本学の楽器を使用してください。
演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

- ① マリンバで音階〔楽譜⑥〕を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

3オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階

〔楽譜⑥〕



- ② C. O. Musser: Etude Op. 11 No. 4 (版の指定はしません)

暗譜で演奏してください。

第2次試験

- ① Gordon Stout: Two Mexican Dances for Marimba より 1 番

繰り返しなしで演奏してください。

- ② C. O. Musser: Etude Op. 6 No. 8

- ③ スネアドラムで〔楽譜⑦〕を演奏してください。

①、②はいずれも暗譜で演奏してください。また、版の指定はしません。

〔楽譜⑦〕

2. 音楽の基礎的能力試験

(1) ソルフェージュ

〈新曲視唱〉(全専攻)

歌詞をともしなわない初見視唱 1 題

〈聴音〉(全専攻)

○作曲専攻作曲コース

- ① 単旋律課題 1 題
- ② 2 声の旋律課題 1 題 (上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。)
- ③ 4 声の和声課題 1 題 (Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。)

○作曲専攻作曲コースを除く全専攻

- ① 単旋律課題 1 題
- ② 4 声の和声課題 1 題 (Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。)

(2) 楽典 (全専攻)

音楽の学習に必要な基礎知識一般 (所要時間: 1 時間)

(3) 副科ピアノ (器楽専攻ピアノコースを除く全専攻)

音階: Hanon No. 39 より、

- ① C-Dur と a-moll
- ② G-Dur と e-moll
- ③ D-Dur と h-moll
- ④ A-Dur と fis-moll
- ⑤ F-Dur と d-moll
- ⑥ B-Dur と g-moll
- ⑦ Es-Dur と c-moll

上記①～⑦の中から当日指定します。暗譜で演奏してください。

(注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を 1 回弾いた後、続けて旋律的短音階を 1 回弾き、終止形をつけて終わる。

令和8年度 愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜試験問題

I 和声課題（作曲専攻作曲コース）

次のバス課題を4声体で実施しなさい。

Moderato

mf

f

mp

p *poco a poco crescendo*

f *ff*

Andante

mf *mp*

II 器楽曲作曲（作曲専攻作曲コース）

次の3つのモチーフのうち、どれか1つを用いて器楽曲を作曲しなさい。

テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。

なお、①はアーティキュレーションも自由、③は拍子、アーティキュレーションも自由とする。

☆注

① ☆注

② ☆注

③ ☆注

☆注 最後の音符の長さは自由。

Ⅲ 音楽学に関する基礎的試験（作曲専攻音楽学コース）

【試験問題】

問題 1

【別紙】の文章を読んで、感じ考えたことを自由に論じなさい。（文字数の制限はありません。）

（別紙省略）※

出典 大岡信『詩・ことば・人間』（講談社、1985 年）

問題 2

「にほふ音」について、感じ考えたことを自由に論じなさい。

（文字数の制限はありません。）

【出題の意図】

学部における音楽学研究に必要な読解力、および論述力を備えているかを問う。

※本学管理棟 3 階 入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前 9 時から午後 5 時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

Ⅳ 外国語（作曲専攻音楽学コース）

問題 1

全文を訳しなさい。

（英文省略）※

出典 Philip Kennicott. “Addressing Aida.” *Opera*, Vol. 75, No. 12 (December 2024)

問題 2

次の英文を読み、①～④をそれぞれ訳しなさい。

（英文省略）※

出典 Pamlyn Smith (ed.). *Program Notes for Band*, Chicago: Program Note Press

【出題の意図】

学部における音楽学研究に必要な外国語の能力を備えているかを問う。

※外国語の試験問題は、本学管理棟 3 階入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前 9 時から午後 5 時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

V 楽典（作曲専攻、声楽専攻、器楽専攻）

【試験問題】

別紙の譜例をみて、以下の各問いに答えなさい。（なお譜例は試験問題に適するよう、原譜より一部変更している。）

問1. ㉗～㉙の音程を答えなさい。（例：「短3」度。なお複音程は単音程に直して答えること）

問2. 問1で答えた㉗～㉙の音程のうち、転回音程の關係にあたるものと異名同音程の關係にあたるものをすべて答えなさい。
（例：「ウとカ」）

問3. い～ほの和音について、その種類（例：「長三和音」）と転回形（例：「第1転回形」）を答えなさい。

問4. この譜例における調の推移について以下の問いに答えなさい。

- (1) ①小節目および⑤小節目の調をそれぞれ日本語で答えなさい。（例：「ハ長」調など）
- (2) ①小節目は主調です。⑤小節目について主調からみた調の關係を答えなさい。（例：「属」調など）

問5. にの和音について、この和音（異名同音も含む）が属する調を日本語で4つ答えなさい。
ただし、調号は♯と♭それぞれ6つまでの調で考えること。

問6.  Aで囲まれた部分を減4度低く、臨時記号を用いてアルト譜表上に書きなさい。
なお、スラーは省略しないこと。

問7.  Bで囲まれた部分を階名で歌う場合、以下の①から④のうちどれが適切か、数字で答えなさい。

- ①ド・ファ・ソ・ラ・ラ・ソ・ファ・シ・シ・ラ・ソ ②ミ・ラ・シ・ド・ド・シ・ラ・レ・レ・ド・シ
- ③シ・ミ・ファ・ソ・ソ・ファ・ミ・ラ・ラ・ソ・ファ ④ソ・ド・レ・ミ・ミ・レ・ド・ファ・ファ・ミ・レ

問8. ㊦の和音を下属和音とする調の平行調の導音を上主音とする短調の和声短音階の上行形を、主音から主音まで調号を用いずにソプラノ譜表上に全音符で書きなさい。

問9. 以下の文章の(1)から(10)について、もっとも適切と考えられる言葉を枠内の選択肢から選び記号で答えなさい。
選択肢は1度しか使えないものとする。

譜例の楽曲は(1)までがプレリュードにあたる部分で、(1)の3拍目から主題が提示され(2)がはじまる。⑨小節目から⑬小節目まで、上声部の和音変化に関わらず続くバスの音は(3)と呼ばれる。

この楽曲は1756年ザルツブルクに生まれ1791年ウィーンに没した(4)の作曲家、(5)が没年に作曲したものである。(5)は幼い頃から音楽の才能を発揮し、(6)と呼ばれていた。題名にあるPHANTASIEとは日本語で(7)と訳されることがある。また、Orgelwalzeとは、自動オルガンのバレル（オルゴールにのつてのシリンドラーに相当）のことである。

(5)の14年後に生まれた作曲家(8)も、パンハルモニコンという自動演奏楽器のための楽曲を残している。パンハルモニコンを開発した技術者メルツェルは(9)の特許取得者としても知られている。(8)はメルツェルと親交があり、(9)によるテンポ表記を積極的に用いた。また、(8)はメルツェルの作った(10)を使用して音を聴いていたとも伝えられている。

- A ⑩小節目 B ⑫小節目 C ⑬小節目 D ソナタ E パッサカリア F フーガ G 根音 H 保続音 I 通奏低音
 J 古典派 K 印象派 L 国民楽派 M モーツァルト N バッハ O ハイドン P 楽聖 Q 神童 R 音楽の父
 S 狂詩曲 T 幻想曲 U 交響曲 V サリエリ W ベートーヴェン X チューナー Y メトロノーム Z 補聴器

【解答】

問1.

ア	減4度	イ	減3度	ウ	長3度	エ	短2度	オ	減5度
カ	短6度	キ	完全4度	ク	増1度	ケ	短7度	コ	増5度

問2.

転回音程 ウとカ アとコ 異名同音程 アとウ カとコ エとク

問3.

い	種類	短三和音	ろ	種類	減五短七の和音	は	種類	減三和音
	転回形	基本形		転回形	第3転回形		転回形	基本形
に	種類	減七の和音	ほ	種類	属七の和音			
	転回形	第2転回形		転回形	第1転回形			

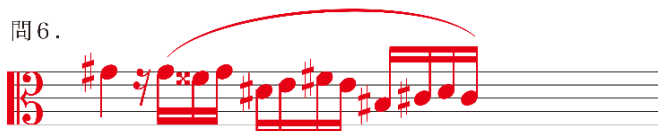
問4.

(1)	①小節目	へ短調	⑤小節目	変口短調	(2)	下屬調
-----	------	-----	------	------	-----	-----

問5.

変口短調	嬰ハ短調	ホ短調	ト短調
------	------	-----	-----

問6.



問7.

②または④

問8.



問9.

1	Ⓒ	2	Ⓕ	3	Ⓗ	4	Ⓙ	5	Ⓜ
6	Ⓚ	7	Ⓣ	8	Ⓦ	9	Ⓨ	10	Ⓩ

VI 聴音（旋律）（作曲専攻、声楽専攻、器楽専攻）

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律



Ⅶ 聴音（2声）（作曲専攻作曲コース）

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。

20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

2声

Ⅷ 聴音（4声）（作曲専攻、声楽専攻、器楽専攻）

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声

Ⅸ 新曲視唱（作曲専攻、声楽専攻、器楽専攻）

予見時間は 1 分 30 秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato

The musical score is written in 3/4 time and B-flat major. It consists of four staves of music. The first staff begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic and a crescendo. The second staff begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic and a decrescendo. The third staff features a ritardando (*rit.*) section followed by a return to tempo (*a tempo*) section with a piano (*p*) dynamic. The fourth staff begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic and a decrescendo to piano (*p*). The score includes various musical notations such as slurs, ties, and dynamic markings.